

## 東京で「地方」を学ぼう！九州地方インバウンドツアーのポイント ～創業 140 年神谷バーでのランチ交流会付き～

2020 年 2 月 15 日（土） 一般社団法人日本観光通訳協会（JGA）  
第一支部研修終了レポート



2020 年 2 月 15 日（土）9:30 より台頭区民会館第 5 会議室に於いて、九州地方のインバウンドツアーのポイントを学ぶ研修会&ランチ交流会が行われました。当シリーズは、全国組織である JGA ならではの企画で、地方の理事にご当地のインバウンド事情をお話し頂く必聴！シリーズの一環です。今回は東京から遠く離れた鹿児島ご出身ご在住の内山眞弓理事（正会員・英語）をお

迎えし開催されました。巷では新型コロナウイルスで業界も大変な中、愛知の 3 名含む 31 名の講演会ご参加があり、また当シリーズでは、普段のご賛助に感謝しご招待である賛助会員の旅行会社様 1 社様（社員 2 名様）のご参加もありました。

九州は島であり、面積や人口比率では何パーセントか、世界で何番目に大きな島か？という問いから、昨今急増している外国籍クルーズの寄港回数（1 位は那覇、2～5 位の港は九州）、そして 7 県+屋久島、奄美大島各地各県のインバウンド観光地、各県の地域ブランド（特産品）についても、地元ならではの貴重なお話満載で、あっという間に 2 時間が過ぎてしまいました。



この研修の為に、講師が各県観光課に行って下さった質問の回答（外国人に PR したい観光地やインバウンドの現状と今後等）等最新情報も全て手作り資料にまとめて下さり、また 24 種にもなる九州全土のパンフや Map 等は厚さ 3cm、その膨大な量のお土産に皆びっくり、大変お得でした。

参加者からも質問があったのは、屋久島の観光。普通は専門のガイドさんをお願いし通訳する形が普通、ただし最近では外国人客に対してはネイティブの英語ガイドが引率することが増えているという特殊事情等の貴重なお話がありました。

地元鹿児島のお話には特に熱い想いが感じられました。鹿児島の日本一の例として、日本で最も長い県（600km）、日本で最も長い村がある（十島村：130km）、現役の菱刈鉦山では昨年実績 7.5 t もの金産出量、県内には 131 もの港、鹿児島湾の水深が深い（最深部 237m）の為に大型客船も着岸できること等の情報、また今は食さないが昔はスーパーでウミガメの玉子が売られていて、鶏卵と同様に食卓に上っていたというお話等は、珍百景的なお話でした。



12:15 からは創業 140 年のレストラン神谷で 24 名が講師を囲んでカニコロケとポタージュのランチを頂き、大変盛り上がりしました。

今回、広い九州を語るには 2 時間は短かったようで、是非とも九州地方の講演の第 2 弾を！というお声がありました。今回、ご参加できなかった方々、次回を乞うご期待！